平成27年度　日本女子大学附属中学校（国語）　解答・解説

解答

一

(一) 1 ウ　2 エ　3 ア　4 イ

(二) ほとんど寝たきりで、自分の好きなものも食べられず、孫の区別もつかなくなっている状態を、せつなく、痛ましく思った。

(三) ア 現実　イ ぼうっ　ウ チームリーダー

(四) 1 空元気　2 自分を支えよう

(五) 落ち込んでいるこのちゃんを心配し、話を聞いたりはげましたかったのに、役に立つことができなかったから。

(六) いままで、ゆうかはわがままで自分とはわかりあえないと思っていたが、わがままな部分も含めてすなおな子であることに気づいたということ。

(七) a（目じりを）たらし（て）　b（顔を）くもら（せる）

(八) 老人ホームのボランティアを通じて、自分の元気がからまわりしていることに気づき、ゆうかのわがままもすなおさの表れであることや、お年よりも人に支えられることより、人を支えることを望んでいることを知って、がんばるだけではなく、人の気持ちに配慮することの大切さを学んだ。

二

(一) ① 閉口　② 潮　③ 練り上げた　④ 果報

(二) ア 追求　イ 方向　ウ 手段

(三) a 感動　b 過激　c 疑似体験

(四) 人間の内面を深く描く（もの）

(五) (1) 文字表現
(2) 人は一つの

解説

一

(二) Ａには、おやつのジュースを配り、飲むときにサポートするこのちゃんの様子が描かれています。元気な声をはりあげても反応がなく、自分の好きなものも食べられず、孫の顔もわからなくなってしまっているお年よりの姿が、せつなすぎたことや、痛ましく悲しく思ったことをまとめます。

(四) ゆうかの一撃とは、「ファイト！」とこぶしを突きあげることに対し「その体育会系のノリ、あたしはむり」と否定されたことを指しています。1には、つらい時こそ無理に笑って出すものとして「空元気」があてはまります。2には、いつもやっていることが入ります。Ａの後から、辛いときほどよく笑うことで自分を支えようとするこのちゃんのくせがわかるので、「自分を支えよう」があてはまります。

二

(四) 「そんなものは文学ではない」という記述は、「エンタメ文芸」に対しての批判を表しています。次の段落にある、「そうしたものとは距離を置き、人間の内面を深く描くのも、文芸の向かうべき一つの道だとは思う。」という記述から、どちらも「文芸」の道であり、もう一方の文学が「人間の内面を深く描く（もの）」であることがわかります。

(五) (1) 文中で使われている「槍」は、バーチャル・リアリティと戦う手段をたとえています。第三段落に「しかし、こうしたバーチャル・リアリティに唯一、対抗できるものがある。文字表現だ。」という記述があることから、槍一本とは「文字表現」のことであるとわかります。

(2) 筆者は第三段落で、文字表現という力は、最新テクノロジーごときに簡単に敗れるはずがないと主張しています。「文字表現」については「人は一つの」から始まる一文で詳しく説明しています。